

工事名：翠町地区下水道改築7-39号工事

工事場所：南区東雲本町三丁目ほか9町

積算参考資料

(注)

(この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

広島市下水道局施設部管路課

積算参考資料

(この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

提 示 項 目	提 示 事 項						
週休2日関係	「設計業務委託等技術者単価」及び「管路調査技師、管路調査助手、管路調査作業員、調査技師補、調査補助員」は労務費の補正対象としない。						
見積単価	<p>見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。単価は週休2日工事の補正がかかる前の単価である。</p> <p>「見積単価一覧表」の資源区分『労務費』及び『機械賃料(2DaW)』は週休2日工事の補正がかかる単価である。それ以外の資源区分については、週休2日工事の補正がかからない単価である。</p>						
殻運搬(人力積込)	<p>殻運搬(人力積込)の積算方法は下記URLに代価表の算出方法を掲載している。</p> <p>URL：https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/koukyoujigyou/399705.html</p>						
諸経費関係	<p>【積算上の工種区分、施工地域・工事箇所区分等】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">工種</th> <th style="width: 33%;">施工地域・工事場所区分</th> <th style="width: 33%;">その他補正</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道工事(4)</td> <td>大都市(2)</td> <td>別紙のとおり</td> </tr> </tbody> </table>	工種	施工地域・工事場所区分	その他補正	下水道工事(4)	大都市(2)	別紙のとおり
工種	施工地域・工事場所区分	その他補正					
下水道工事(4)	大都市(2)	別紙のとおり					
スクラップ関係	マンホール鉄蓋取替工のスクラップについては、全間接費の対象外としている。						
劣化度調査工の日進量について	<p>劣化度調査工における中性化試験工及び圧縮強度試験工の日進量は以下のとおりとしている。</p> <p>本管径 800mm～1200mm未満 : 7箇所/日</p> <p>本管径 1200mm～2000mm以下 : 10箇所/日</p> <p>本管径 2000mm超 : 7箇所/日</p>						

<p>モルタル練 (1:2)の 施工単価につ いて</p>	<p>以下の施工単価については、「モルタル練(1:2)」を使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本管口仕上工@ (製管工法) • マンホール底部仕上工@ (製管工法) <p>「モルタル練(1:2)」については、土木工事標準積算基準書(令和4年8月)第Ⅱ編 第4章 1) コンクリート工の「4-2 モルタル練(1:2)」を適用する。</p> <p>なお、標準単価及び積算単価等の適用については、以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="432 678 1409 981"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 678 608 734">項目</th> <th data-bbox="608 678 1409 734">適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 734 608 909">標準単価等</td> <td data-bbox="608 734 1409 909"> <ul style="list-style-type: none"> • 令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 • 代表材料規格等の基準単価作成方法について(令和4年度8月適用分) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 909 608 981">積算単価</td> <td data-bbox="608 909 1409 981"> <ul style="list-style-type: none"> • 南区 • 令和7年5月 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	適用	標準単価等	<ul style="list-style-type: none"> • 令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 • 代表材料規格等の基準単価作成方法について(令和4年度8月適用分) 	積算単価	<ul style="list-style-type: none"> • 南区 • 令和7年5月
項目	適用						
標準単価等	<ul style="list-style-type: none"> • 令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 • 代表材料規格等の基準単価作成方法について(令和4年度8月適用分) 						
積算単価	<ul style="list-style-type: none"> • 南区 • 令和7年5月 						
<p>管きょ内調査 (施工後)に ついて</p>	<p>施工後調査に要する費用は、共通仮設費(率分)に含んでいる。</p>						

月単位の週休2日工事に係る積算について

本工事は、月単位（4週間の期間内）で振替日の設定を行う「月単位の週休2日工事」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により当初設計から月単位で4週8休以上であった場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【機械経費（賃料）：1.02】

【共通仮設費率：1.03】

【現場管理費率：1.05】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

「週休2日交替制工事」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「週休2日交替制工事」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により「週休2日交替制工事」の補正係数により変更を行う。

なお、月単位の「週休2日交替制工事」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0001	ストリップ L型 (1段爪)	m	R0705	9,610	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0002	SFジョイナー L型	m	R0705	2,030	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0003	スパーサー L型	m	R0705	13,100	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0004	ストリップフィーダー損料 L型	日	R0705	19,400	機械損料	全間接費の 対象	
TA0005	緊張リング損料 φ1800mm	式	R0705	12,100	機械損料	全間接費の 対象	
TA0006	混和剤 DB2混和剤	k g	R0705	180	材料単価	全間接費の 対象	
TA0007	硬化剤 DB2硬化剤	k g	R0705	532	材料単価	全間接費の 対象	
TA0008	添加剤 DB2添加剤	k g	R0705	1,820	材料単価	全間接費の 対象	
TA0009	機械損料 注入プラント	日	R0705	123,000	機械損料	全間接費の 対象	
TA0010	機械損料 ホース巻取り機	日	R0705	35,800	機械損料	全間接費の 対象	
TA0011	製管機損料 φ1500mm以上	日	R0705	54,000	機械損料	全間接費の 対象	
TA0012	空気圧縮機損料 1.4m ³ /min	日	R0705	1,760	機械損料	全間接費の 対象	
TA0013	注入ホース損料 先端混合ノズル共	式	R0705	79,746	機械損料	全間接費の 対象	
TA0016	機械損料 ホース引込ウィンチ	日	R0705	692	機械損料	全間接費の 対象	
TA0017	管口仕上げ材	L	R0705	449	材料単価	全間接費の 対象	
TA0018	送風機損料 軸流式50/60m ³ /min	台	R0705	140	機械損料	全間接費の 対象	
TA0019	ストリップ S型 (1段爪)	m	R0705	7,980	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0020	SFジョイナー S型	m	R0705	1,830	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0021	スペーサー M型	m	R0705	12,000	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0022	緊張リング損料 φ1000mm	式	R0705	8,560	機械損料	全間接費の 対象	
TA0023	緊張リング損料 φ1200mm	式	R0705	9,460	機械損料	全間接費の 対象	
TA0024	製管機損料 φ1500mm以下	日	R0705	45,500	機械損料	全間接費の 対象	
TA0025	エポキシ系コーキング材	L	R0705	3,510	材料単価	全間接費の 対象	
TA0026	ストリップ LL型	m	R0705	4,830	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0027	SFジョイナー LL型	m	R0705	1,900	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0028	スペーサー LS型	m	R0705	17,200	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0029	緊張リング損料 φ2400mm	式	R0705	16,300	機械損料	全間接費の 対象	
TA0030	ストリップフィーダー損料 LL型	日	R0705	23,100	機械損料	全間接費の 対象	
TA0031	製管機損料 φ2000mm以上	日	R0705	72,800	機械損料	全間接費の 対象	
TA0032	スペーサー S型	m	R0705	10,900	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0033	緊張リング損料 φ900mm	式	R0705	8,110	機械損料	全間接費の 対象	
TA0100	特殊機械損料	日	R0705	41,000	機械損料	全間接費の 対象	
TA0101	円形切断工 φ950mm	日	R0705	12,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0102	固定金具 3本/組	組	R0705	10,000	材料単価	全間接費の 対象	

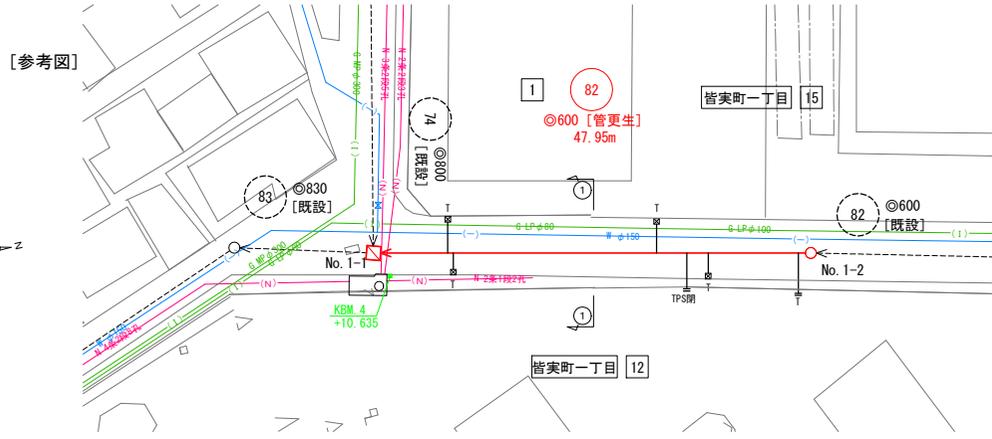
見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0103	躯体緊結用ボルト 3本/組	組	R0705	4,500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0104	表層材 MSK 18kg/セット	k g	R0705	500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0105	クレーン装置付きトラック運転 4t 2.9t吊	日	R0705	29,400	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0106	ダンプトラック運転 2t	日	R0705	8,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0107	無収縮モルタル	k g	R0705	182	仮設材単 価等	全間接費の 対象	
TA0901	水 使用総水量：6m3 期間：7日	m3	R0705	5	仮設材単 価等	処分費など の対象	

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事				
縮尺	図示	製造年月日	R7.5	
課長	係長	設計	写図	
広島市下水道局施設部管路課				



合流平面図 S=1/300

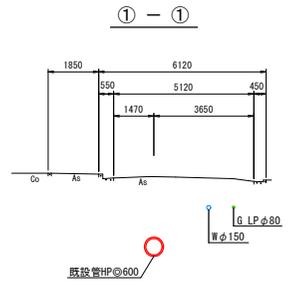


合流縦断面図 V=1/100 H=1/300



管径	mm	HP φ600
勾配	‰	2.1
区間距離	m	47.95
地盤高	''	10.96
土被り	''	2.21
管底高	''	7.830
掘削深	''	1
追加距離	''	0.00

横断面図 S=1/100



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整型補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
○ 2号マンホール	● 特2号マンホール
○ 3号マンホール	● 特3号マンホール
○ 4号マンホール	● 特4号マンホール
○ 5号マンホール	● 結立0号マンホール
○ 6号マンホール	○ 結立1号マンホール
○ 7号マンホール	○ 結立2号マンホール
○ 8号マンホール	○ 結立3号マンホール
○ 9号マンホール	■ 掃除口
○ 角4号マンホール	○ 造り替マンホール
○ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡例	
——	合流実施
——	合流既設
——	汚水既設
——	雨水既設
——	汚水計画
——	雨水計画
——+	汚水同一施工
——+	雨水同一施工
	網不明取付
⊗	雨水取付 (既設)
●	汚水取付
○	宅地内雨水
——(-)	水連管
——(1)	ガス管
——(N)	N.T.Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○→	内副管

※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない (管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。 (管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部	取付管	材料等	木の根	ハッチ	浸水	副管部
No. 1-2~No. 1-1	5	3	2	-	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R.7.5
課長	係長	設計	写図
			図番 2
広島市下水道局施設部管路課			



凡例 施工箇所

補修	修
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

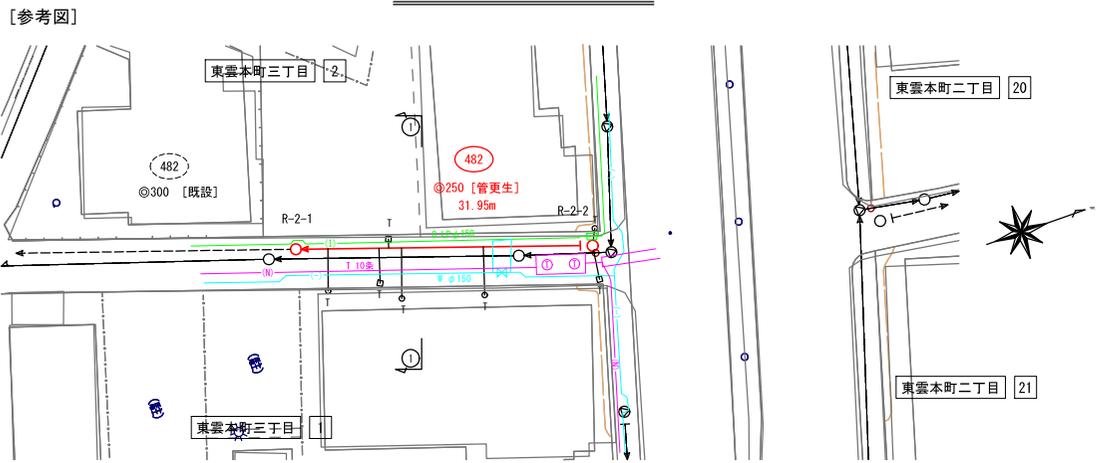
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	独立0号マンホール
○	独立1号マンホール
○	独立2号マンホール
○	独立3号マンホール
○	掘削口
○	掘削小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管 路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

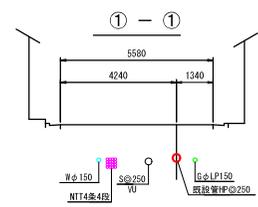
取付管	
—	樹木取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	NTTケーブル
(+)	中電ケーブル

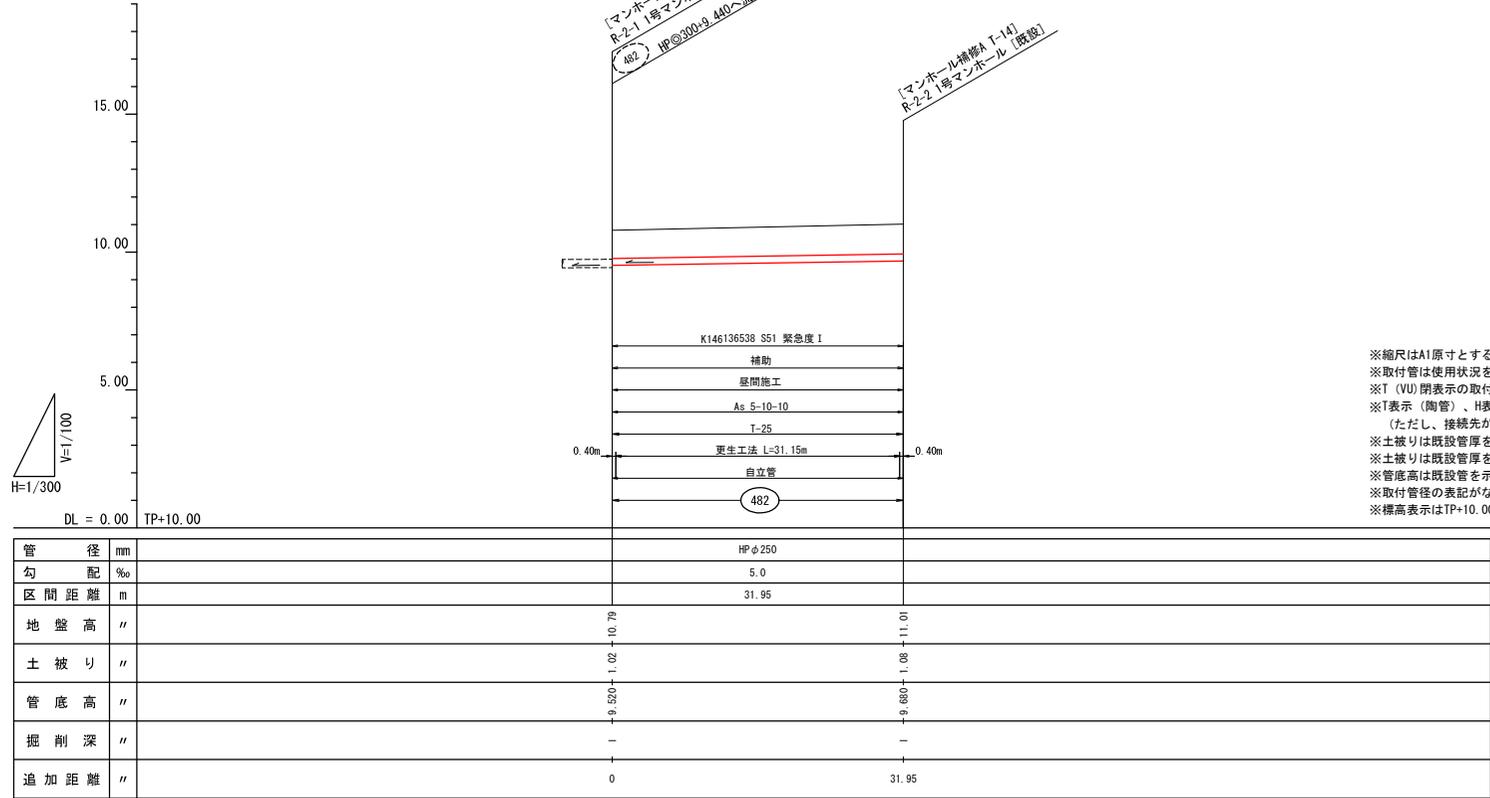
雨水平面図 S=1/300



横断図 S=1/100



縦断図 V=1/100 H=1/300



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

管 径	mm	HPφ250
勾 配	‰	5.0
区 間 距 離	m	31.95
地 盤 高	''	10.79
土 被 り	''	1.02
管 底 高	''	-9.520
掘 削 深	''	11.01
追 加 距 離	''	31.95

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	パッキン除去	浸水処理
R-2-2~R-2-1	5	4	3	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R. 7. 5
課長	係長	設計	写図
広島市下水道局施設部管路課			図番 3



凡例 施工箇所

補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

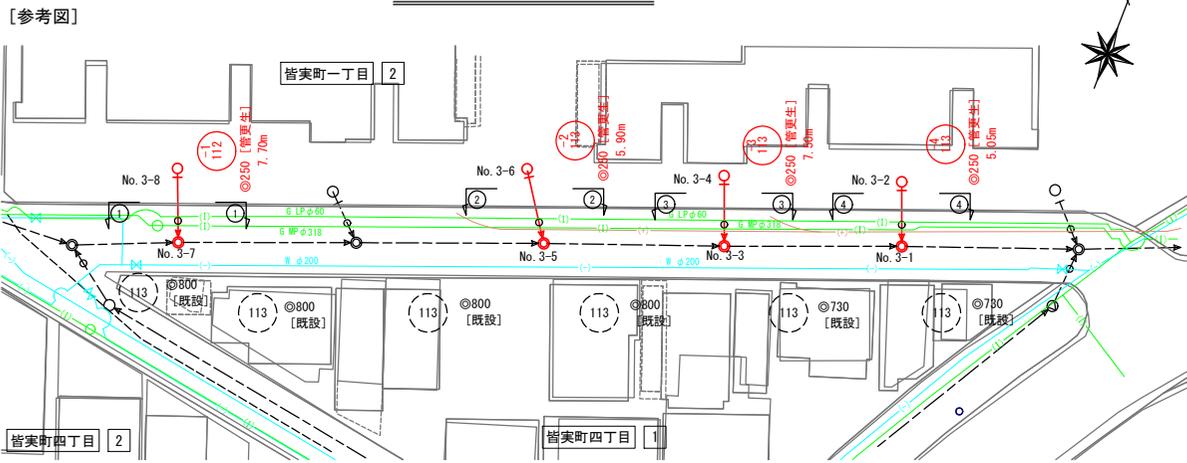
マンホール	説明
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	縦立0号マンホール
○	縦立1号マンホール
○	縦立2号マンホール
○	縦立3号マンホール
○	掃除口
○	埋込型小型マンホール
○	内側管付マンホール
○	外側管付マンホール

管	路
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

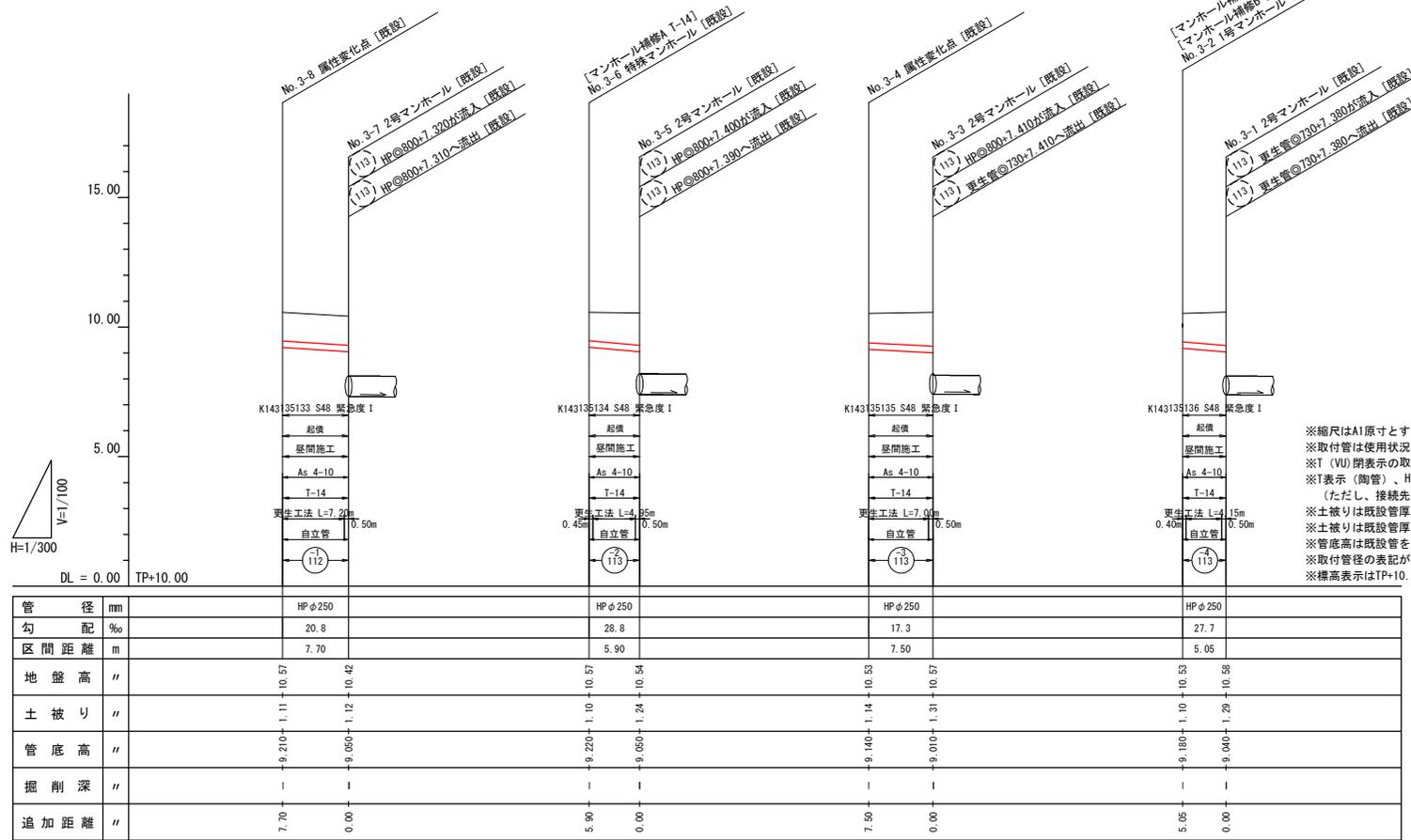
取付管	説明
—	側不明取付
—	雨水取付 (既設)
—	汚水側取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	説明
(-)	水道管
(1)	ガス管
(N)	N Tケーブル
(+)	中電ケーブル

合流平面図 S=1/300



縦断図 V=1/100 H=1/300



横断図 S=1/100



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (埋込管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない (管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。 (管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸水処理
No. 3-2~No. 3-1	-	-	-	-	-	-
No. 3-4~No. 3-3	-	-	1	1	-	-
No. 3-6~No. 3-5	-	-	1	-	-	-
No. 3-8~No. 3-7	-	-	1	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事				
縮尺	図示	製図年月	R.7.5	
課長	係長	設計	写図	
				図番 4
広島市下水道局施設部管路課				



凡例 施工箇所

補修	補修
マンホール補修A	線蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整補修
マンホール補修F	鉄錠・床板取替

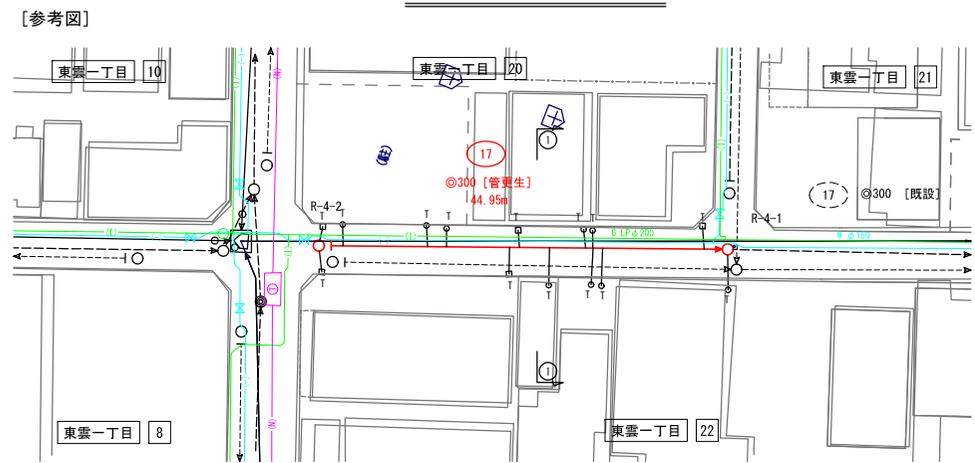
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	直立0号マンホール
○	直立1号マンホール
○	直立2号マンホール
○	直立3号マンホール
○	掃除口
○	塩ビ製小型マンホール
○	内割管付マンホール
○	外割管付マンホール

管 線	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
— + —	汚水既設-施工
— + —	雨水既設-施工

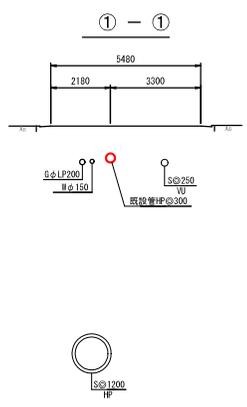
取付管	
—	樹形不明取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水樹取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—(—)	水道管
—(1)	ガス管
—(N)	N.Tケーブル
—(+)	中電ケーブル

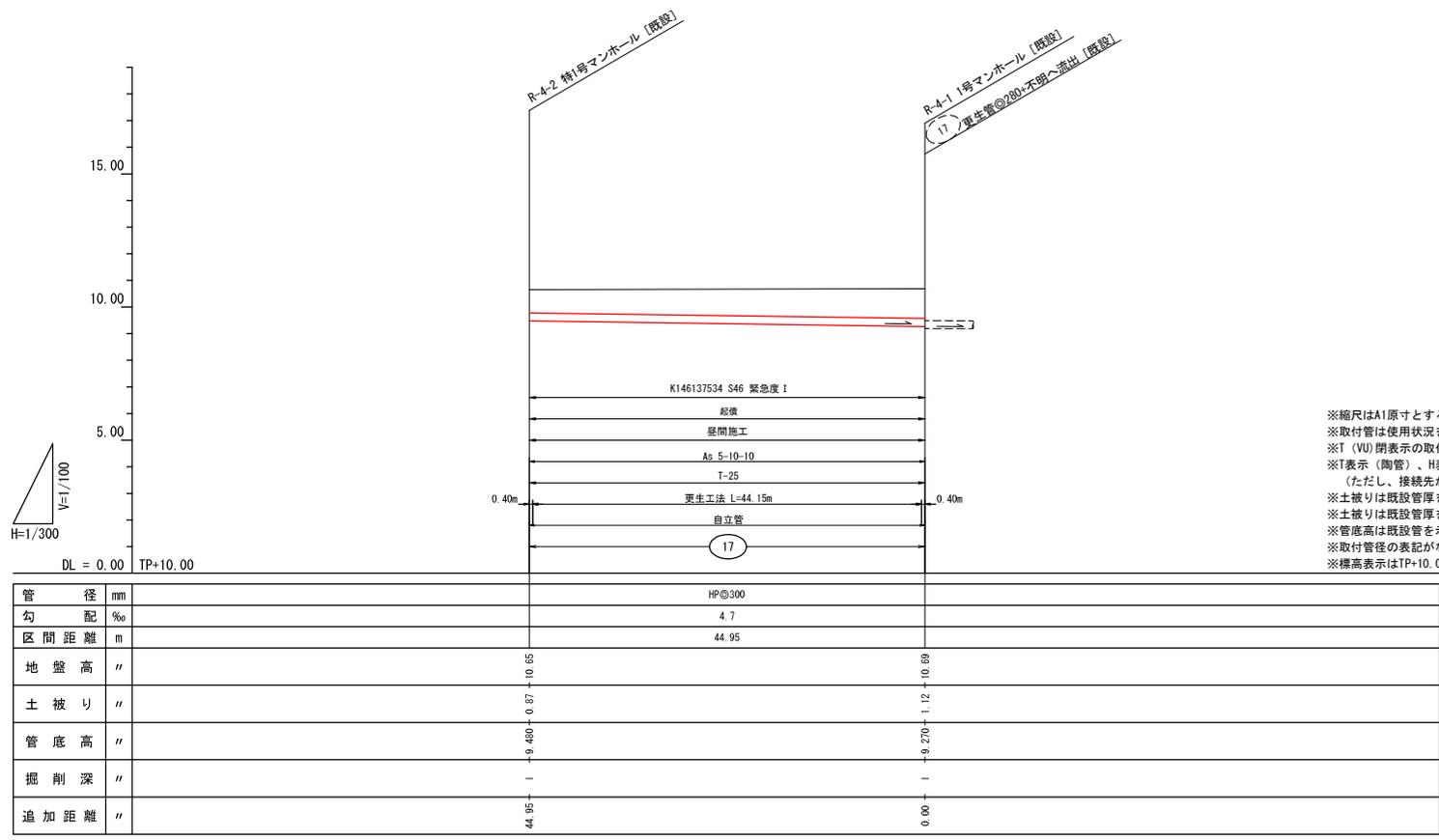
雨水平面図 S=1/300



横断図 S=1/100



縦断図 V=1/100, H=1/300



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※I 表示 (陶管)、H 表示 (ヒューム管) およびVU 表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない (管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

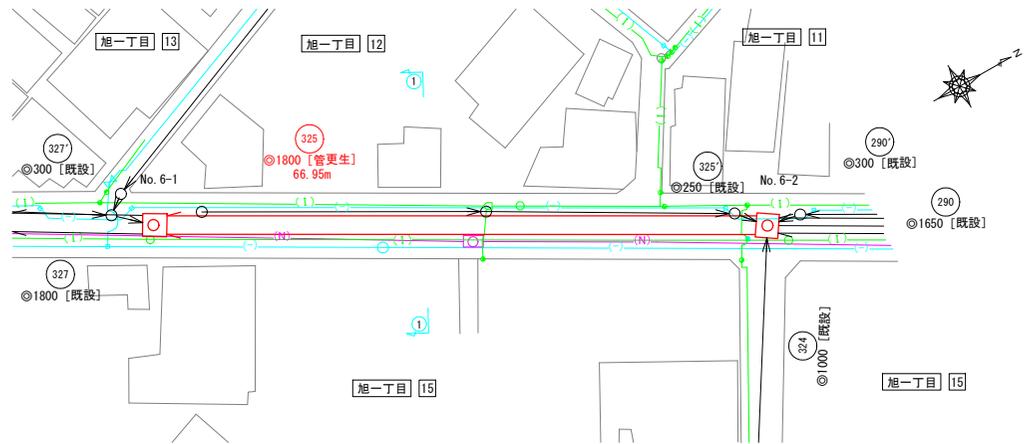
位置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵入	パッキン 除去	浸透水 処理
R-4-2~R-4-1	11	8	3	-	-	-

翠町地区下水道改築 7-3-9号工事				
縮尺	図示	製造年月日	R07.5	
課長	係長	設計	写図	
広島市下水道局施設部管路課				

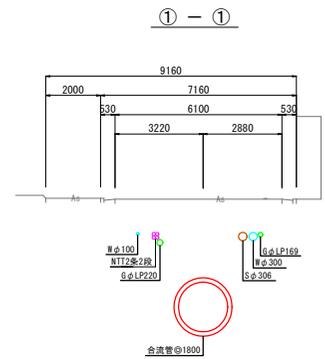


合流平面図 S=1/300

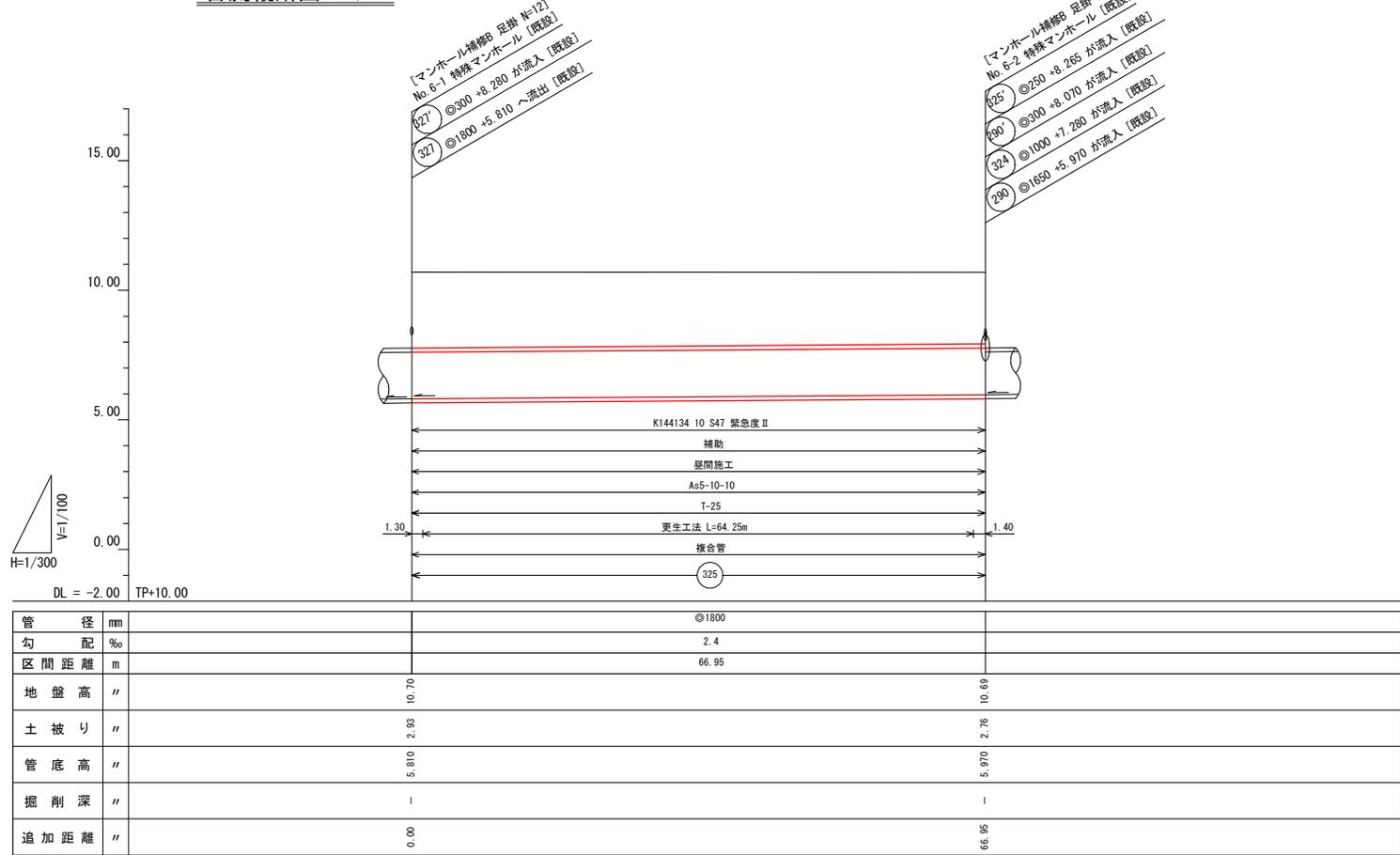
[参考図]



横断図 S=1/100



合流縦断図 V=1/100 H=1/300



補修凡例	凡例
マンホール補修A 鉄蓋取替	
マンホール補修B 足掛取替(幅300mm)	
マンホール補修C インバート打替	
マンホール補修D 躯体補修	
マンホール補修E 高さ調整部補修	
マンホール補修F 鉄蓋・床版取替	

マンホール 凡例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
○ 2号マンホール	● 特2号マンホール
○ 3号マンホール	● 特3号マンホール
○ 4号マンホール	● 特4号マンホール
○ 5号マンホール	● 結立0号マンホール
○ 6号マンホール	○ 結立1号マンホール
○ 7号マンホール	○ 結立2号マンホール
○ 8号マンホール	○ 結立3号マンホール
○ 9号マンホール	■ 掃除口
○ 角4号マンホール	○ 塩ビ製マンホール
○ 角5号マンホール	○ 特殊マンホール

凡例	
——	合流実施
——	合流既設
——	汚水既設
——	雨水既設
——	雨水計画
——	雨水計画
——	汚水同一施工
——	雨水同一施工
	鋼不明取付
	雨水取付(既設)
●	汚水取付
○	宅内雨水
——(-)	水送管
——(1)	ガス管
——(N)	NTTケーブル
——(+)	中電ケーブル
○	外副管
○	内副管

- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、V閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- ※ (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出除去	特殊等除去	木の根侵入	バッチ除去	浸入水処理
No. 6-1~No. 6-2	-	-	-	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R. 7. 5
課長	係長	設計	写図
広島市下水道局施設部管路課			図番 7



凡例 施工箇所

補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

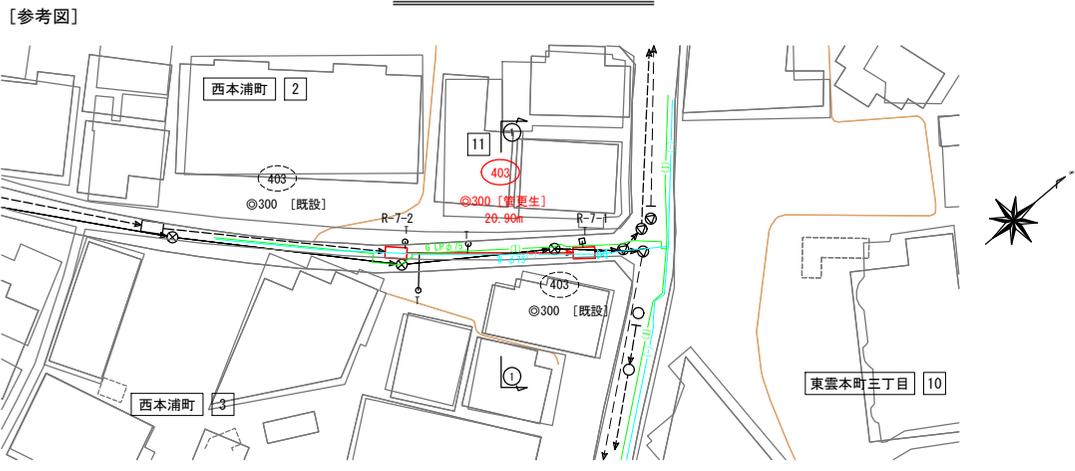
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	組立0号マンホール
○	組立1号マンホール
○	組立2号マンホール
○	組立3号マンホール
○	掃除口
○	埋込型小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管 路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

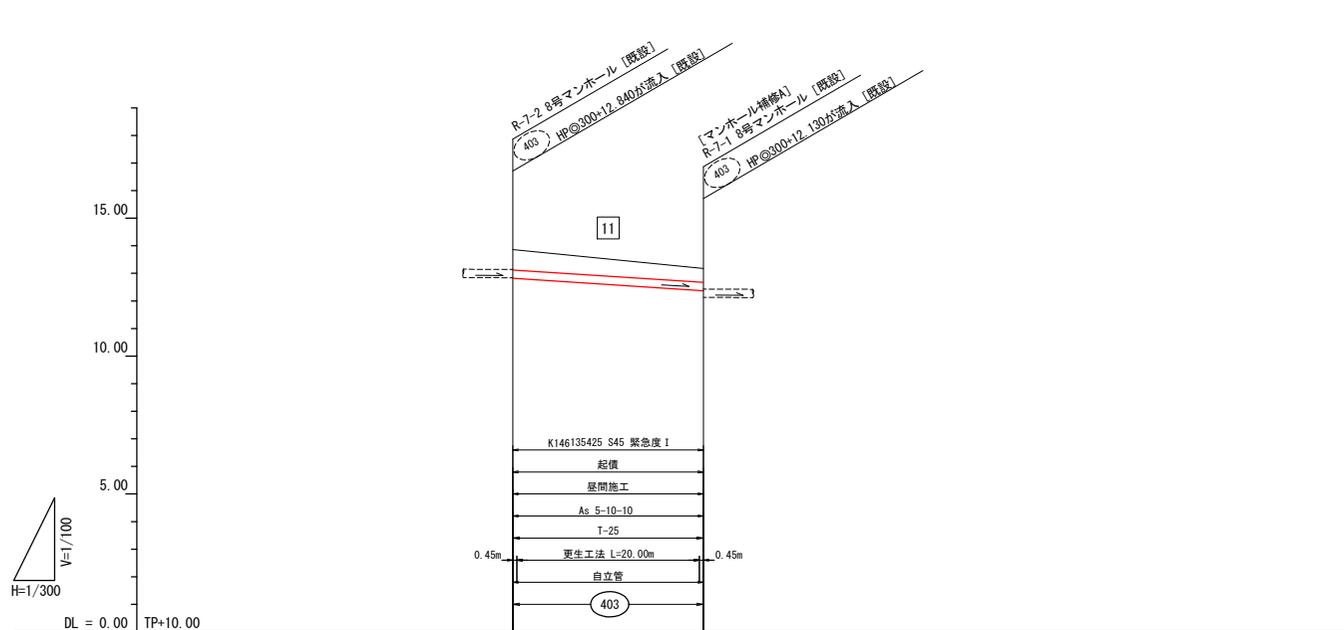
取付管	
—	雨水取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水側取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	NTケーブル
(+)	中電ケーブル

雨水平面図 S=1/300

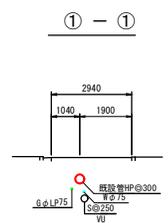


縦断図 V=1/100 H=1/300



管 径	mm	300
勾 配	%	21.5
区 間 距 離	m	20.90
地 盤 高	''	+12.86
土 被 り	''	+12.86 - 0.74 = +12.12
管 底 高	''	+12.30
掘 削 深	''	0
追 加 距 離	''	20.90

横断図 S=1/100



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸出水処理
R-7-2~R-7-1	2	2	1	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R.7.5
課長	係長	設計	写図
			図番 8
広島市下水道局施設部管路課			



凡例 施工箇所

補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

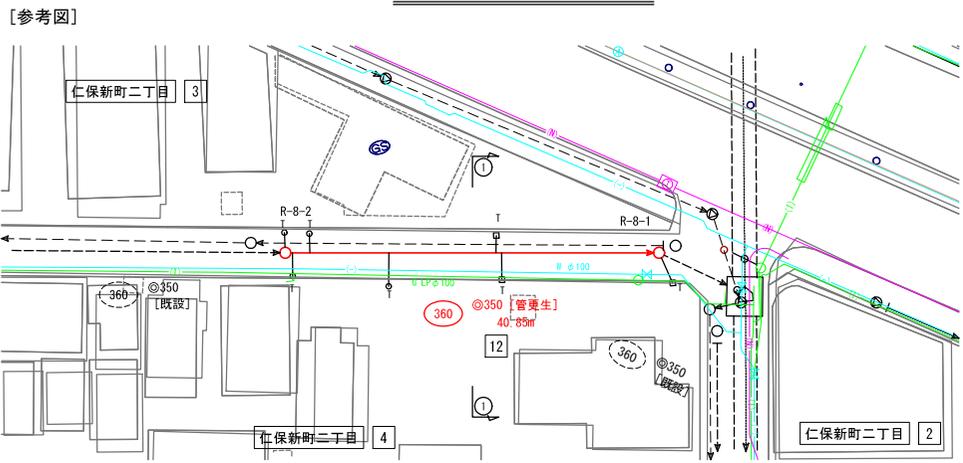
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	独立0号マンホール
○	独立1号マンホール
○	独立2号マンホール
○	独立3号マンホール
○	掘削口
○	塩ビ製小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

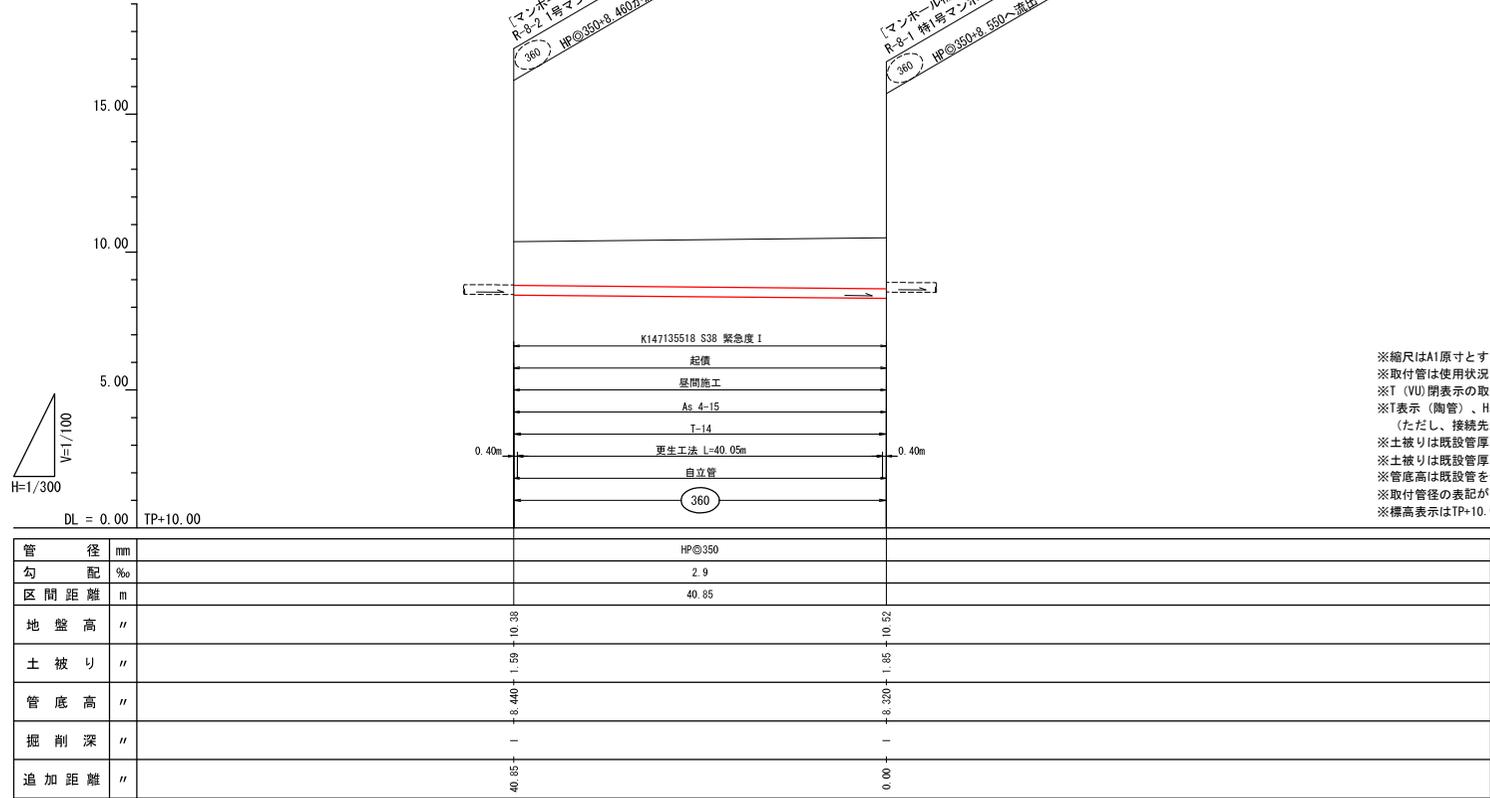
取付管	
—	樹形取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水側取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	N.T.Tケーブル
(+)	中電ケーブル

雨水平面図 S=1/300



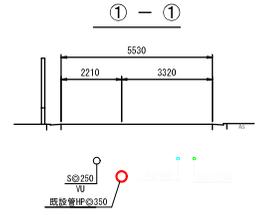
縦断図 V=1/100 H=1/300



H=1/300
DL = 0.00 TP+10.00

管径	mm	HPφ350
勾配	‰	2.9
区間距離	m	40.85
地盤高	''	+10.38
土被り	''	+8.440 - 1.59
管底高	''	+8.320 - 1.85
掘削深	''	+8.320 - 1.85
追加距離	''	0.00

横断図 S=1/100



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない。(管径900mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径900mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸水処理
R-8-2~R-8-1	5	3	3	1	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R.7.5
課長	係長	設計	写図
広島市下水道局施設部管路課			図番 9



凡例 施工箇所

補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

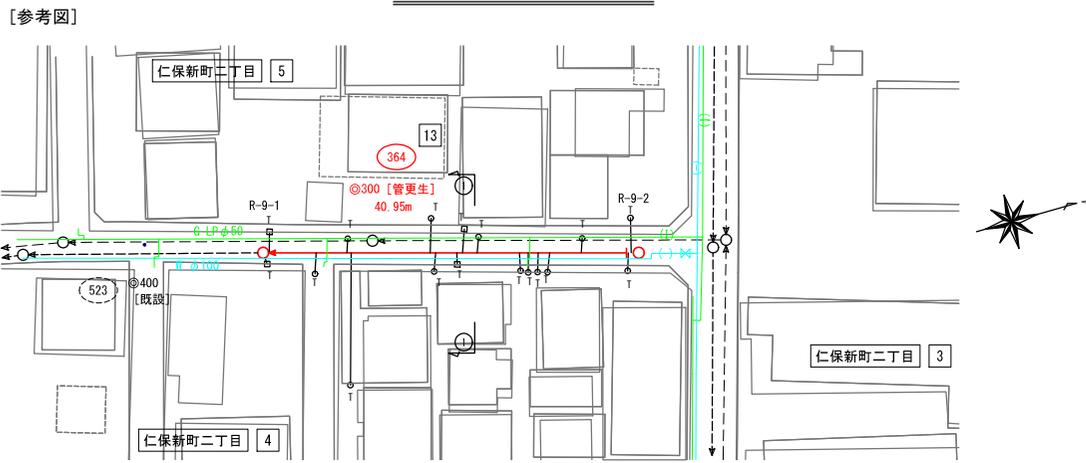
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	組立0号マンホール
○	組立1号マンホール
○	組立2号マンホール
○	組立3号マンホール
○	掘削口
○	掘削小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

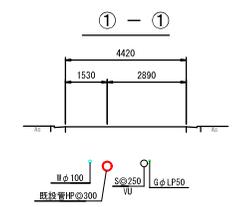
取付管	
—	樹形取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水側取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	NTケーブル
(+)	中電ケーブル

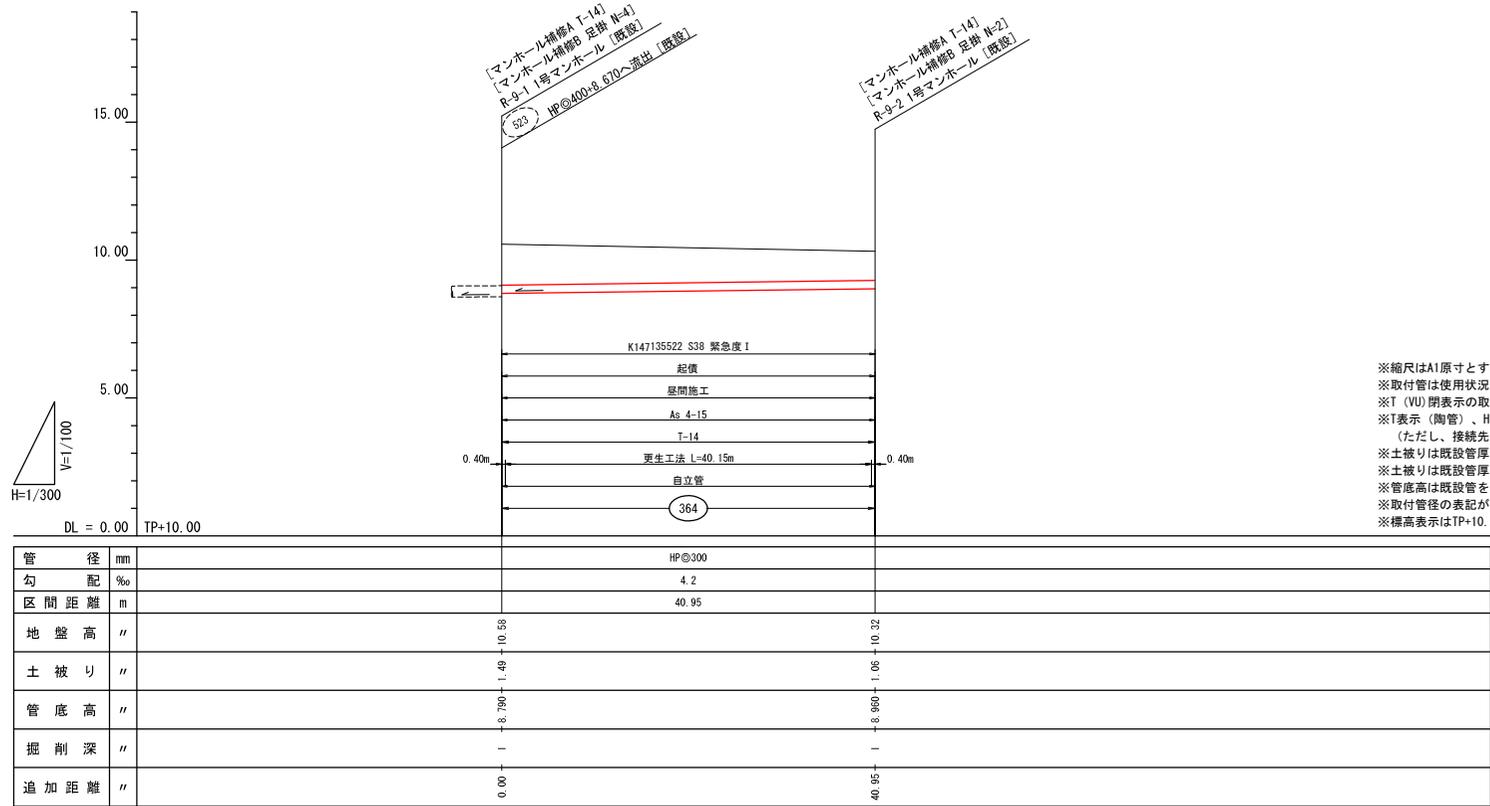
雨水平面図 S=1/300



横断図 S=1/100



縦断図 V=1/100 H=1/300



管径	mm	HPφ300
勾配	‰	4.2
区間距離	m	40.95
地盤高	''	+10.58
土被り	''	+1.49
管底高	''	+8.79
掘削深	''	+10.32
追加距離	''	40.95

※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない (管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸出水処理
R-9-2~R-9-1	15	10	3	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R.7.5
課長	係長	設計	写図
広島市下水道局施設部管路課			図番 10



凡例 施工箇所

補修	取替
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	組立0号マンホール
○	組立1号マンホール
○	組立2号マンホール
○	組立3号マンホール
○	掘削口
○	掘削小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

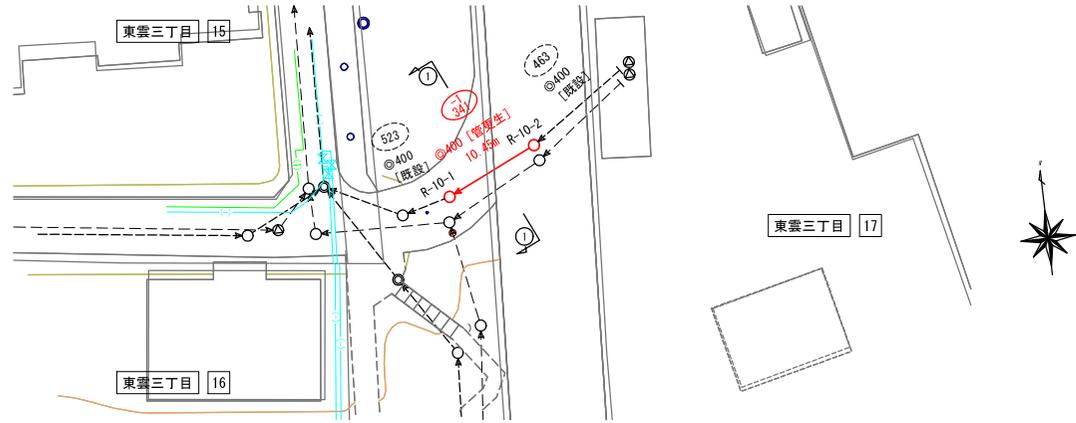
管路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水管一施工
—	雨水管一施工

取付管	
—	樹形取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水管取付
—	宅地内雨水

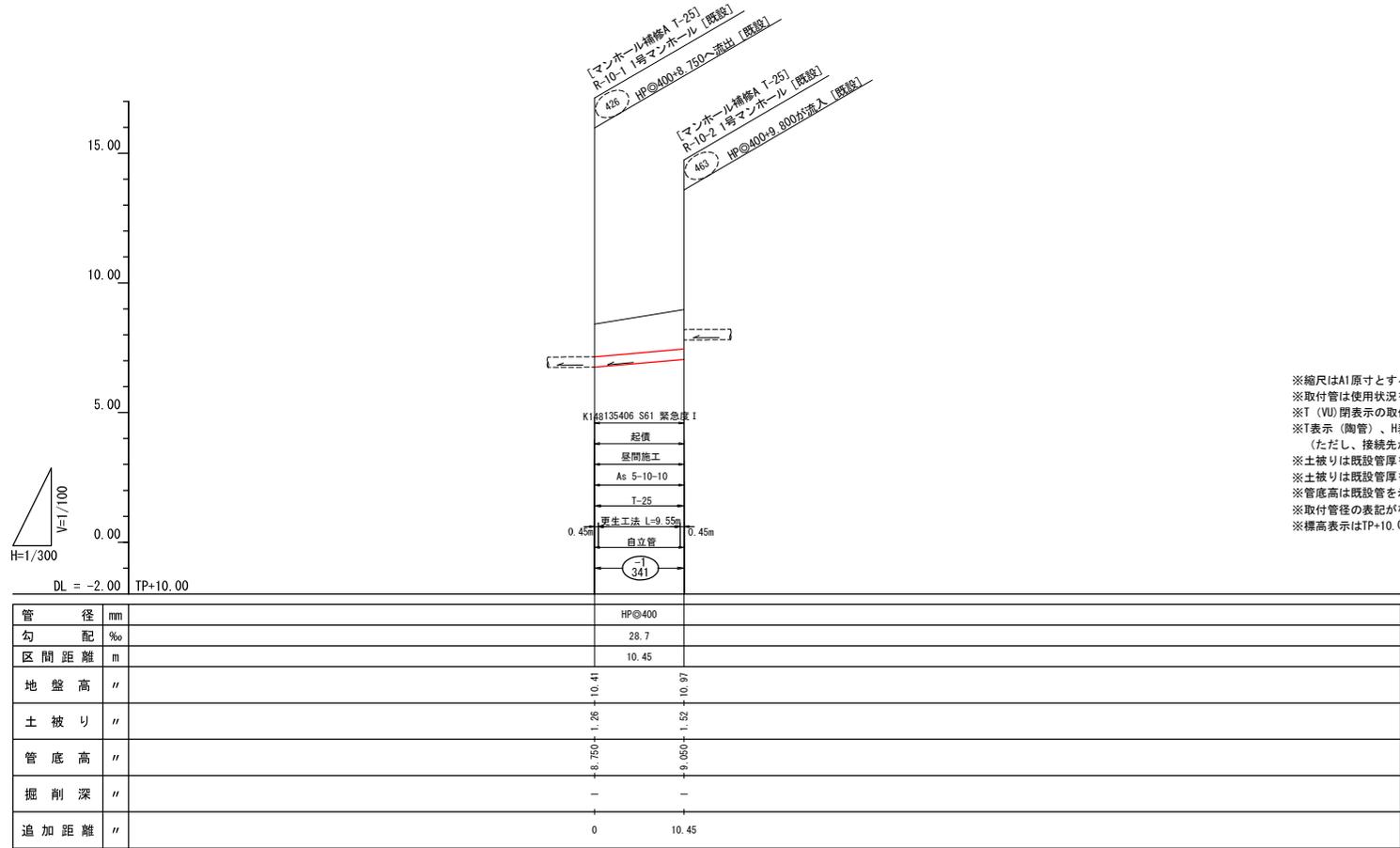
地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	NTケーブル
(+)	中電ケーブル

雨水平面図 S=1/300

[参考図]



縦断図 V=1/100 H=1/300



横断図 S=1/100

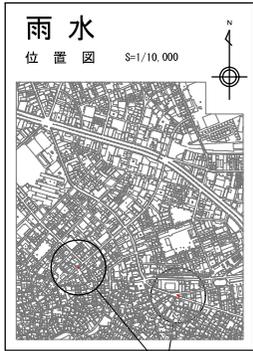
① - ①



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※標高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	パッキン除去	浸水処理
R-10-2~R-10-1	-	-	-	-	-	-

翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事			
縮尺	図示	製図年月	R.7.5
課長	係長	設計	写図
広島市下水道局施設部管路課			図番 11



凡例 施工箇所

補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床板取替

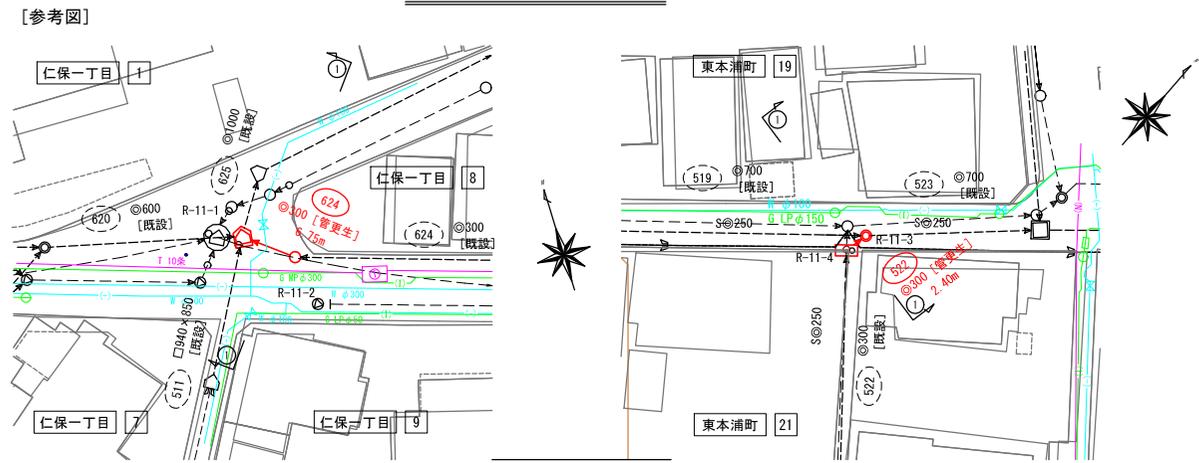
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
○	組立0号マンホール
○	組立1号マンホール
○	組立2号マンホール
○	組立3号マンホール
○	掘削口
○	掘削小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管 路	
—	合流管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

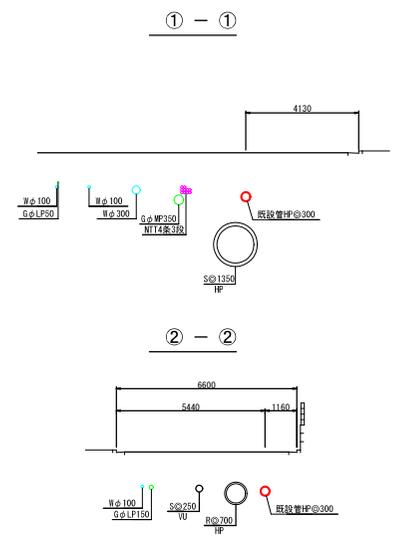
取付管	
—	樹木取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
—	ガス管
—	NTTケーブル
—	中電ケーブル

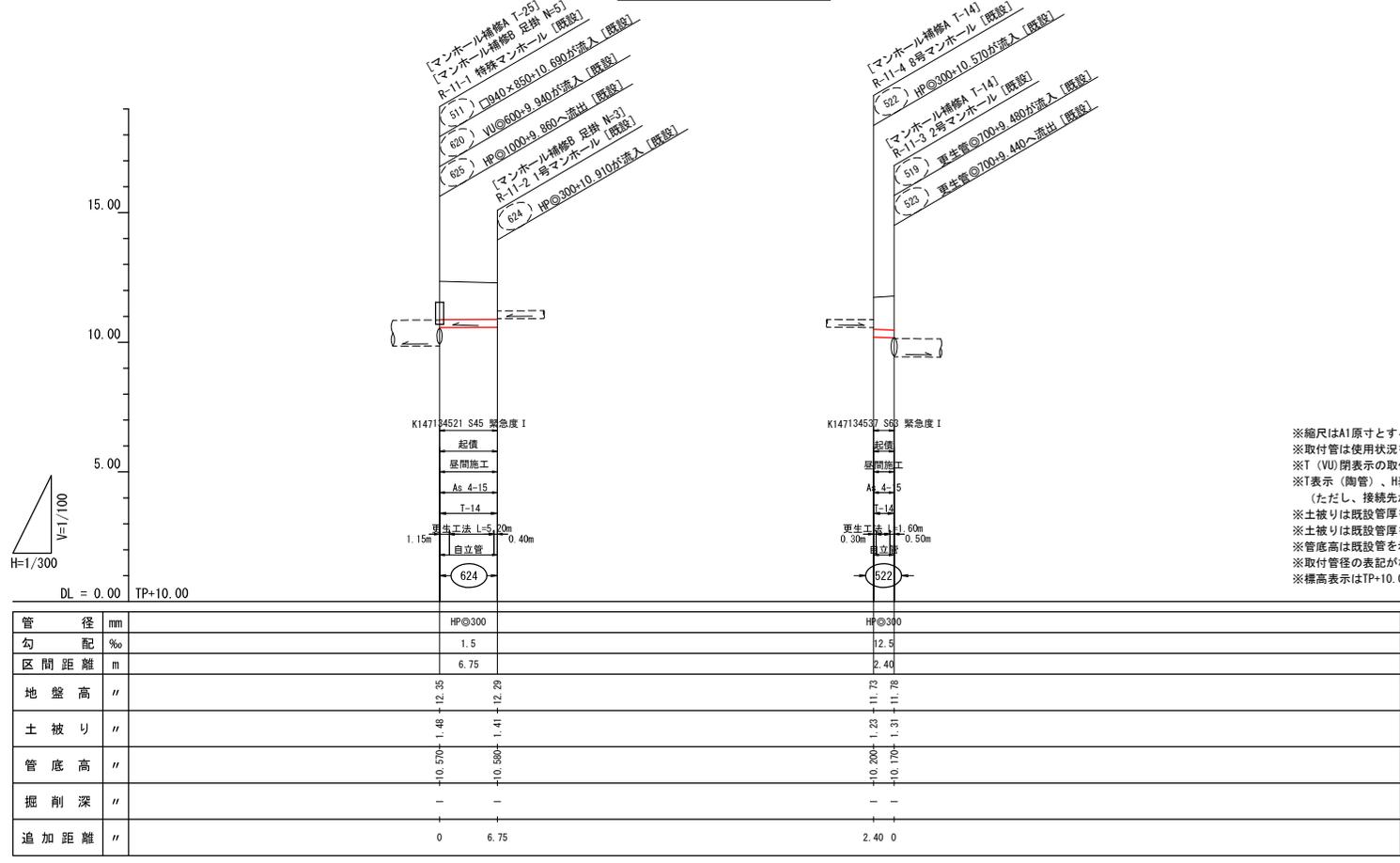
雨水平面図 S=1/300



横断図 S=1/100



縦断図 V=1/100 H=1/300



※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管は使用状況を確認して削孔等の作業を行うこと。
 ※T (VU) 閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管) およびSVU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理は行わない)
 ※土被りは既設管厚を考慮していない (管径800mm未満)
 ※土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底高は既設管を示す。
 ※取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※橋高表示はTP+10.00mを示す。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸水処理
R-11-2~R-11-1	-	-	-	-	-	-
R-11-4~R-11-3	-	-	-	-	-	-

翠町地区下水道改築7-39号工事				
縮尺	図示	製造年月日	R07.5	
課長	係長	設計	写図	図番
				NO. 12
広島市下水道局施設部管路課				

〔参考図〕

位置図 S=1/10,000

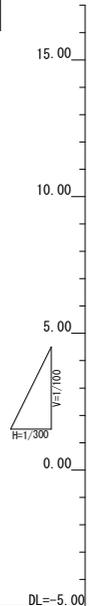


施工箇所

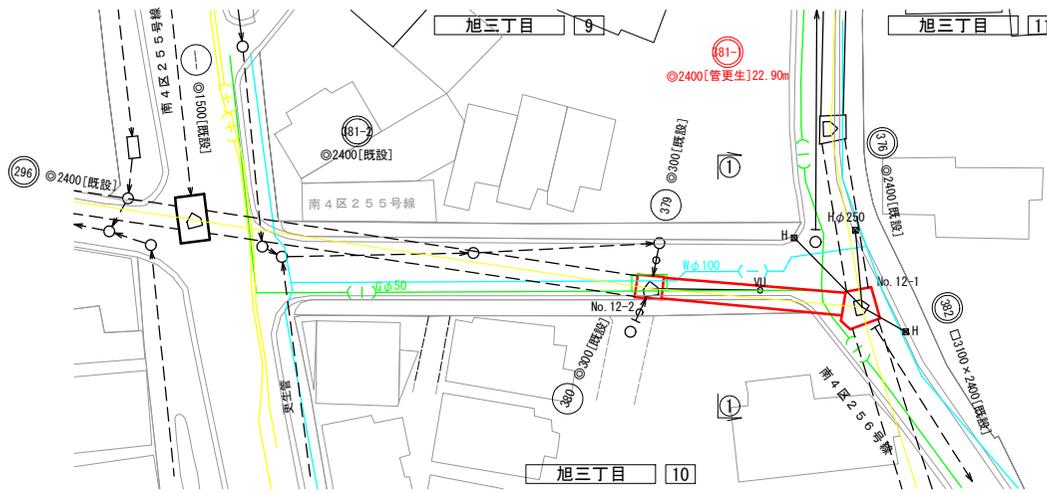
補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インパート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修

凡	例
—	合流実線
---	合流既設
---	合流計画
+	汚水同一様工
+	雨水同一様工
+	雨水取付(新設)
+	雨水取付(既設)
○	合流取付
H	キャップ止
(-)	水運管
(-)	ガス管
(-)	N.T.Tケーブル
(-)	中電ケーブル

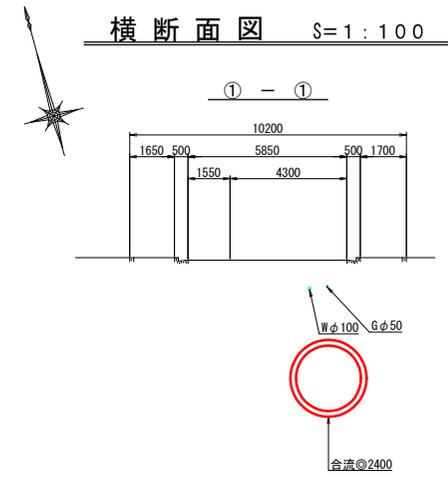
マンホール凡例			
○	1号マンホール	■	特4号マンホール
◎	2号マンホール	◐	組立0号マンホール
⊙	3号マンホール	⊚	組立1号マンホール
⊕	4号マンホール	⊛	組立2号マンホール
⊖	5号マンホール	⊜	組立3号マンホール
⊗	6号マンホール	⊝	組立4号マンホール
⊘	7号マンホール	⊞	組立特殊マンホール
⊙	8号マンホール	⊟	組立8号マンホール(500×500)
⊕	9号マンホール	⊠	組立横間マンホール(500×500)
⊖	角4号マンホール	⊡	塩ビ製マンホール
⊗	角5号マンホール	⊢	掃除口
●	特1号マンホール	△	特殊マンホール
⊙	特2号マンホール	▽	内副管付マンホール
⊕	特3号マンホール	◇	外副管付マンホール



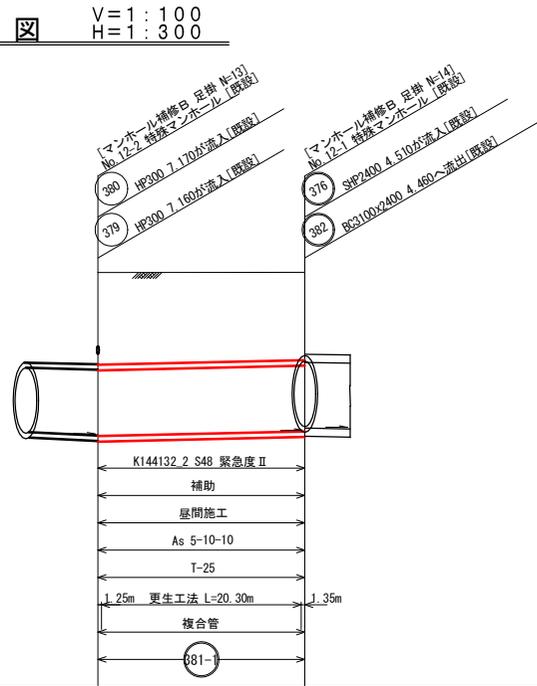
合流平面図 S=1:300



横断面図 S=1:100



縦断面図 V=1:100 H=1:300

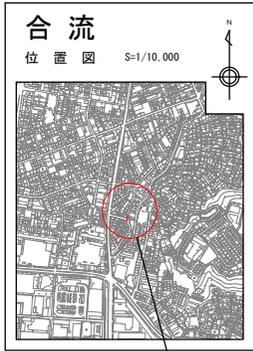


※縮尺はA1原寸とする。
 ※取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
 ※(V)は表示の取付管は削孔を許さない。
 ※I表示(簡管)およびV表示(塩ビ管)の取付管は削孔のみとしている。
 ※I表示は削孔を考慮していない。(管径800mm未満)
 ※土盛りは削孔を考慮している。(管径800mm以上)
 ※管底面は削孔を考慮しない場合はφ150mmとする。
 ※取付管の取付高は削孔を考慮しない場合はφ150mmとする。
 ※標高は、T.P+10.00mを示す。

管径	mm	SHP 2400	
勾配	‰	0.0	
区間距離	m	22.90	
地盤高	"	10.32	10.16
土被	"	3.38	3.22
管底高	"	4.340	4.340
掘削深	"	1	1
追加距離	"	22.90	0.00

	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	侵入水
No.12-1 ~ No.12-2	---	---	---	---	---	---

翠町地区下水道改築7-39号工事			
縮尺	図示	製図年月	R07.5
課長	係長	設計	写図
			図番 13
広島市下水道局施設部管路課			



凡例 施工箇所

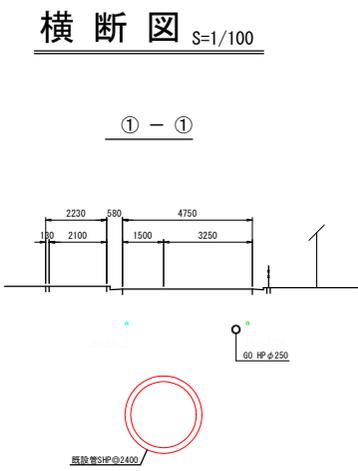
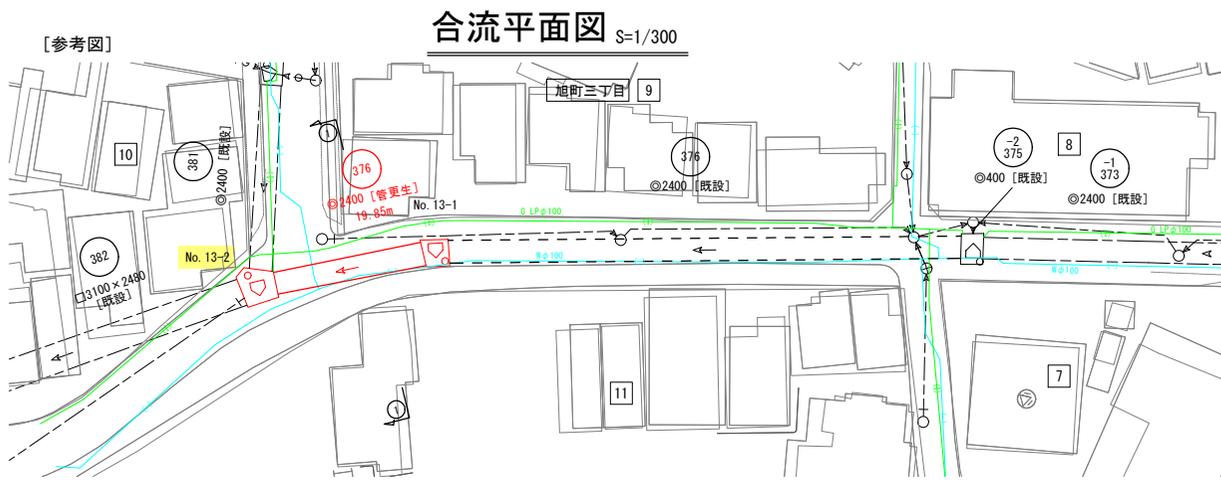
補修	内容
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インポート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
⊗	6号マンホール
⊗	7号マンホール
⊗	8号マンホール
⊗	9号マンホール
⊗	角4号マンホール
⊗	角5号マンホール
●	特1号マンホール
●	特2号マンホール
●	特3号マンホール
●	特4号マンホール
●	縦立0号マンホール
●	縦立1号マンホール
●	縦立2号マンホール
●	縦立3号マンホール
⊕	掃除口
⊕	塩ビ製小型マンホール
⊕	内副管付マンホール
⊕	外副管付マンホール

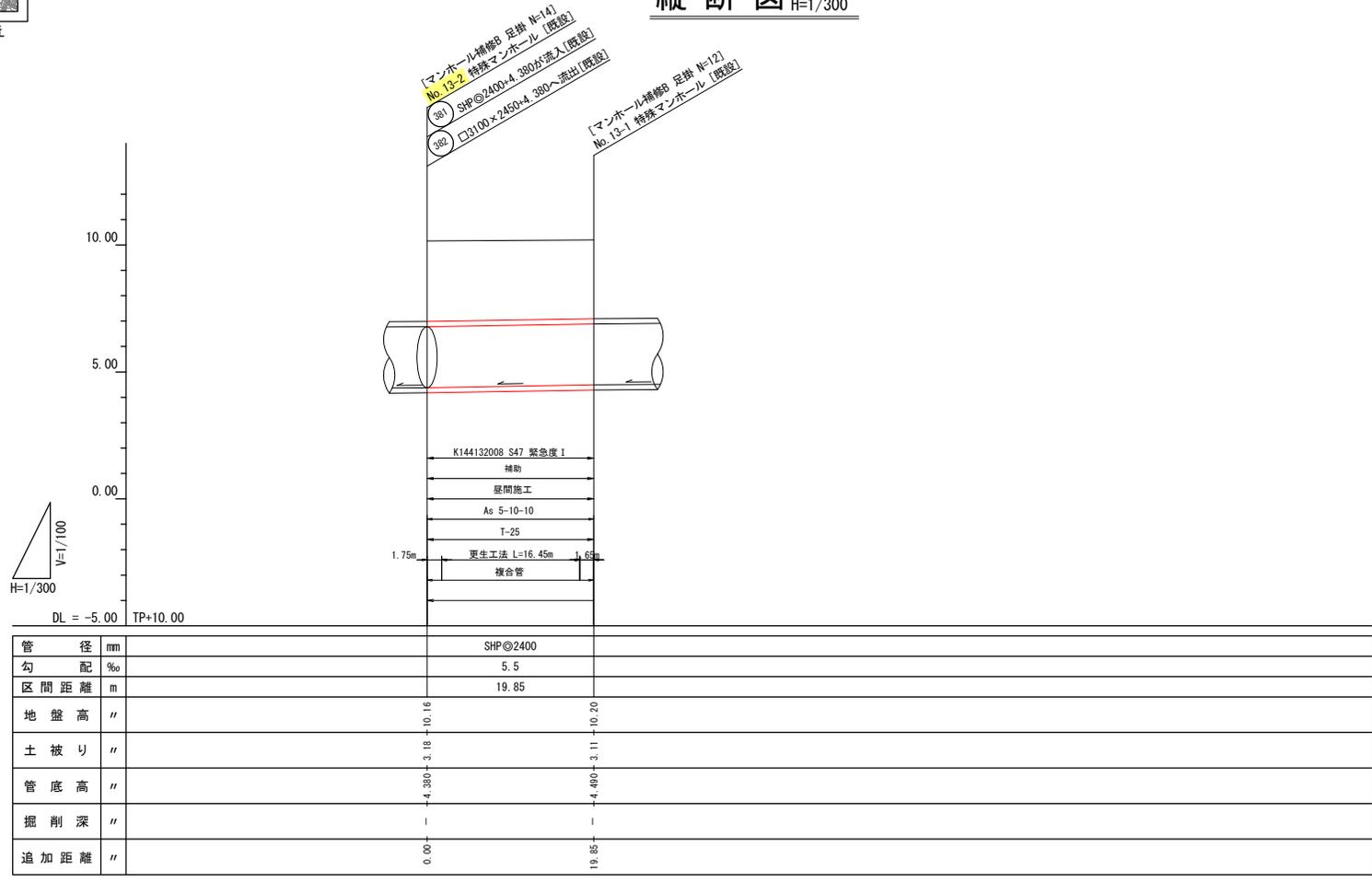
管 路	
—	合流実管
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

取付管	
—	閉閉取付
—	雨水取付(既設)
—	汚水側取付
—	宅地内雨水

地下埋設物	
—	水道管
(1)	ガス管
(N)	N.Tケーブル
(+)	中電ケーブル



縦断図 V=1/100 H=1/300

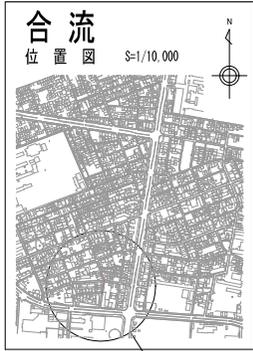


管 径	mm	SHP@2400
勾 配	‰	5.5
区 間 距 離	m	19.85
地 盤 高	''	10.16 / 10.20
土 被 り	''	3.18 / 3.11
管 底 高	''	4.300 / 4.490
掘 削 深	''	—
追 加 距 離	''	0.00 / 19.85

- ※ 縮尺はA1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、V閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バックン除去	浸入処理
No.13-1~No.13-2	-	-	-	-	-	-

翠町地区下水道改築7-39号工事			
縮尺	図示	取調年月日	R07.5
課長	係長	設計	写原
			15
広島市下水道局施設部管路課			



凡例

補修	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インポート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整器補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

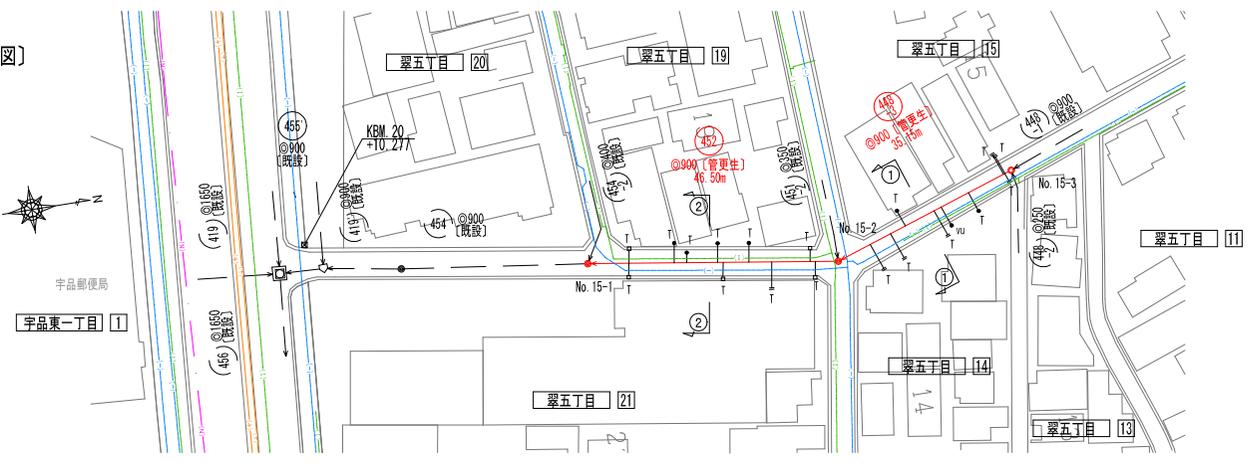
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
○	特1号マンホール
○	特2号マンホール
○	特3号マンホール
○	特4号マンホール
○	組立0号マンホール
○	組立1号マンホール
○	組立2号マンホール
○	組立3号マンホール
○	掃除口
○	掘削小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管 路	
—	汚水実設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
—++	汚水開一施工
—+	雨水開一施工

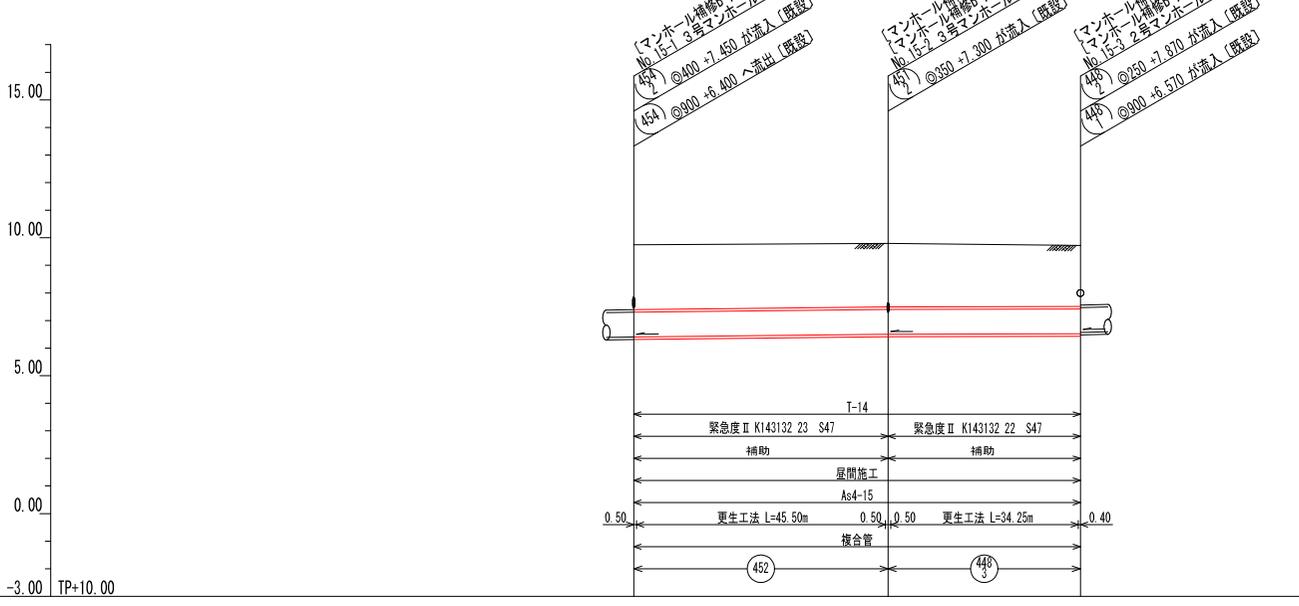
取付管	
□	雨水取付(新設)
□	雨水取付(既設)
○	汚水側取付
○	宅地内雨水

地下埋設物	
—(-)—	水道管
—(1)—	ガス管
—(N)—	NTケーブル
—(+)	中電ケーブル

合流平面図 S=1/500

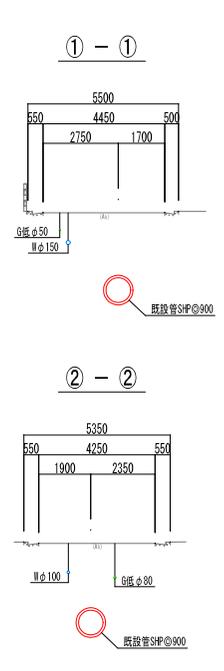


合流縦断面図 V=1/100 H=1/500



管径	mm	φ900	φ900	
勾配	‰	2.2	0.6	
区間距離	m	46.50	35.15	
地盤高	m	9.75	9.80	9.72
土被り	m	2.35	2.31	2.21
管底高	m	6.40	6.50	6.52
掘削深	m	—	—	—
追加距離	m	0.00	46.50	81.65

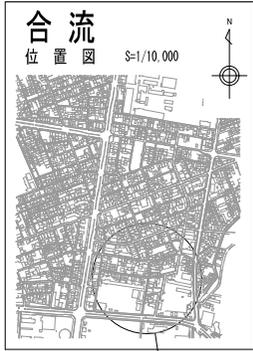
横断面 S=1/100



※ 縮尺はA1出力時を示す。
 ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
 ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
 ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
 (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
 ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
 ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
 ※ 管底高は既設管を示す。
 ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
 ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出除去	材料除去	木の根侵入	削孔除去
No.15-1~No.15-2	10	-	-	-	-
No.15-2~No.15-3	9	-	-	-	-

翠町地区下水道改築7-3号工事			
縮尺	図示	取付年月日	R07.5
課長	係長	設計	写原
			図章
広島市下水道局施設部管路課			



凡例

補修	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替
マンホール補修C	インパット打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整器補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

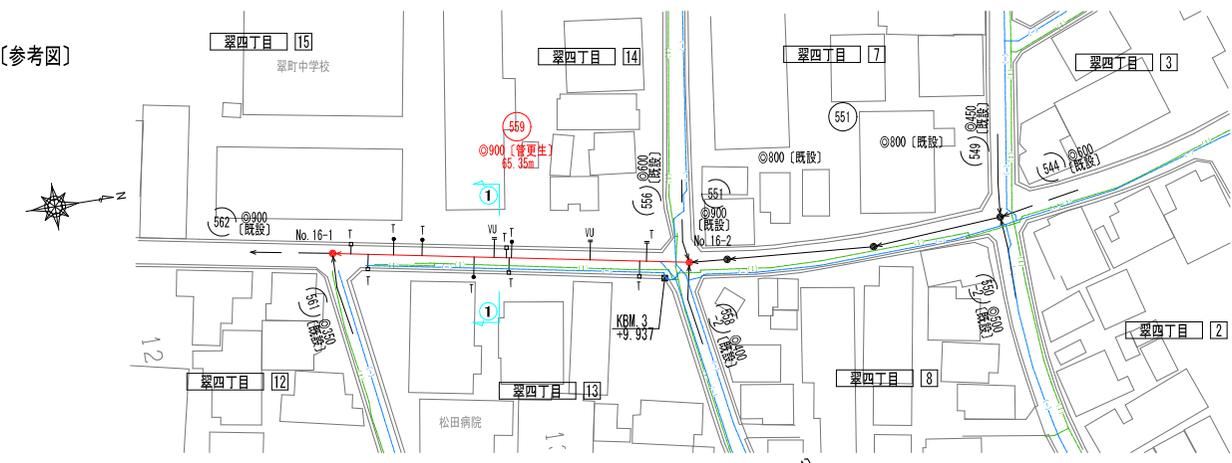
マンホール	
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	6号マンホール
○	7号マンホール
○	8号マンホール
○	9号マンホール
○	角4号マンホール
○	角5号マンホール
○	特1号マンホール
○	特2号マンホール
○	特3号マンホール
○	特4号マンホール
○	縦立0号マンホール
○	縦立1号マンホール
○	縦立2号マンホール
○	縦立3号マンホール
○	掃除口
○	塩ビ製小型マンホール
○	内副管付マンホール
○	外副管付マンホール

管	
—	汚水実管
—	雨水既設
—	雨水計画
—	汚水計画
—	雨水同一施工
—	汚水同一施工
—	雨水同一施工

取付管	
□	雨水取付(新設)
□	雨水取付(既設)
○	汚水側取付
○	宅地内雨水

地下埋設物	
—(-)—	水道管
—(1)—	ガス管
—(N)—	NTTケーブル
—(+)—	中電ケーブル

合流平面図 S=1/500

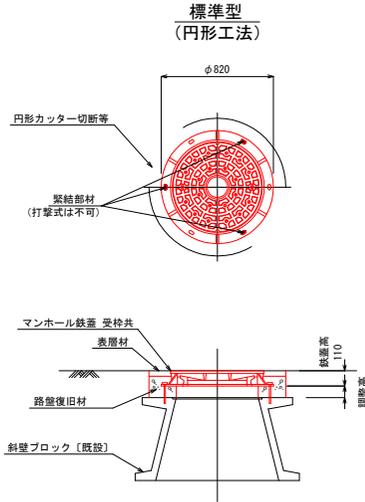


翠町地区下水道改築 7 - 39 号工事				
縮尺 図示		製図年月日		R7. 5
課長	係長	設計	写図	図 番 No. 17 計
広島市下水道局施設部管路課				

[参考図]

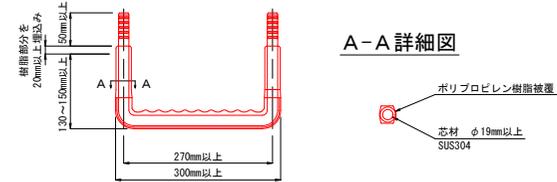
マンホール補修工

マンホール補修A S=1:20
(マンホール鉄蓋取替工)



※調整高が100mmを超える場合は、調整リングを使用する。

マンホール補修B
足掛金物詳細図 S=1:5
(後付けタイプ)



後付けタイプ足掛金物仕様

芯材	寸法	φ19mm以上
材質		SUS 304
被覆樹脂	材質	ポリプロピレン樹脂と同等品以上
取付方法		<ul style="list-style-type: none"> ・エポキシ等により完全に固定する。 ・躯体へは5cm以上埋込む。 ・また、固定部分のための樹脂部分を2cm以上埋込む。 ・先端部には、脱落防止防止 (水ジ切り、ボルト止め) 加工を施す。 ・足掛り部の出は、13cm以上を基本とする。 ・足掛り物の取付ピッチは30cmを基本とする。 ・足掛り部表面は、すべり止め加工を施す。

図面No.	マンホールNo.	マンホール補修Aタイプ	調整リング(mm)	鉄蓋種別
2	R-2-1	標準	-	T-25
	R-2-2	標準	-	T-25
	No. 3-2	標準	-	T-14
3	No. 3-6	標準	-	T-14
	R-5-1	標準	-	T-25
7	R-7-1	標準	-	T-25
	R-8-1	標準	-	T-14
8	R-8-2	標準	-	T-14
	R-9-1	標準	-	T-14
	R-9-2	標準	-	T-14
10	R-10-1	標準	-	T-25
	R-10-2	標準	-	T-25
	R-11-1	標準	-	T-14
	R-11-3	標準	-	T-14
11	R-11-4	標準	-	T-14
	No.15-2	標準	-	T-14
15	No.15-3	標準	-	T-14
	No.16-1	標準	-	T-14
16	No.16-2	標準	-	T-14